

✠010 旧約聖書に預言されたキリスト

✠創世記 3 : 15

お前と女、お前の子孫と女の子孫の間に／わたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き／お前は彼のかかとを砕く。

⇒「女の子孫」という言葉は、原文（ヘブル語）は単数形であり、キリストを示す。

✠サムエル下 7 : 12～16

あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。この者がわたしの名のために家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえに堅く据える。わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。彼が過ちを犯すときは、人間の杖、人の子らの鞭をもって彼を懲らしめよう。わたしは慈しみを彼から取り去りはしない。あなたの前から退けたサウルから慈しみを取り去ったが、そのようなことはしない。あなたの家、あなたの王国は、あなたの行く手にとこしえに続き、あなたの王座はとこしえに堅く据えられる。」

⇒「王座をとこしえに堅く立てる」とは、キリストによる王権を指す。

✠詩篇 22 篇

【指揮者によって。「暁の雌鹿」に合わせて。賛歌。ダビデの詩。】わたしの神よ、わたしの神よ／なぜわたしをお見捨てになるのか。なぜわたしを遠く離れ、救おうとせず／呻きも言葉も聞いてくださらないのか。わたしの神よ／昼は、呼び求めても答えてくださらない。夜も、黙ることをお許しにならない。だがあなたは、聖所にいまし／イスラエルの賛美を受ける方。わたしたちの先祖はあなたに依り頼み／依り頼んで、救われて来た。助けを求めてあなたに叫び、救い出され／あなたに依り頼んで、裏切られたことはない。わたしは虫けら、とても人とはいえない。人間の屑、民の恥。わたしを見る人は皆、わたしを嘲笑い／唇を突き出し、頭を振る。「主に頼んで救ってもらうがよい。主が愛しておられるなら／助けてくださるだろう。」わたしを母の胎から取り出し／その乳房にゆだねてくださったのはあなたです。母がわたしをみごもったときから／わたしはあなたにすがってきました。母の胎にあるときから、あなたはわたしの神。わたしを遠く離れないでください／苦難が近づき、助けてくれる者はいないのです。雄牛が群がってわたしを囲み／バシヤンの猛牛がわたしに迫る。餌食を前にした獅子のようになり／牙をむいてわたしに襲いかかる者がいる。わたしは水となって注ぎ出され／骨はことごとくはずれ／心は胸の中で蠟のように溶ける。口は渴いて素焼きのかけらとなり／舌は上顎にはり付く。あなたはわたしを塵と死の中に打ち捨てられる。犬どもがわたしを取り囲み／さいなむ者が群がってわたしを囲み／獅子のようにわたしの手足を砕く。骨が数えられる程になったわたしのからだを／彼らはさらしものにして眺め わたしの着物を分け／衣を取ろうとしてくじを引く。主よ、あなただけは／わたしを遠く離れないでください。わたしの力の神よ／今すぐにわたしを助けてください。わたしの魂を剣から救い出し／わたしの身を犬どもから救い出してください。獅子の口、雄牛の角からわたしを救い／わたしに答えてください。わたしは兄弟たちに御名を語り伝え／集会の中であなたを賛美します。主を畏れる人々よ、主を賛美せよ。ヤコブの子孫は皆、主に栄光を帰せよ。イスラエルの子孫は皆、主を恐れよ。主は貧しい人の苦しみを／決して侮らず、さげすまれません。御顔を隠すことなく／助けを求める叫びを聞

いてくださいます。それゆえ、わたしは大いなる集会で／あなたに賛美をささげ／神を畏れる人々の前で満願の献げ物をささげます。貧しい人は食べて満ち足り／主を尋ね求める人は主を賛美します。いつまでも健やかな命が与えられますように。地の果てまで／すべての人が主を認め、御もとに立ち帰り／国々の民が御前にひれ伏しますように。王権は主にあり、主は国々を治められます。命に溢れてこの地に住む者はことごとく／主にひれ伏し／塵に下った者もすべて御前に身を屈めます。わたしの魂は必ず命を得 子孫は神に仕え／主のことを来るべき代に語り伝え／成し遂げてくださった恵みの御業を／民の末に告げ知らせるでしょう。

⇒この詩篇（→メシア詩篇）もキリストの十字架を預言している。十字架上のキリストの最後の 7 つの言葉に関連がある。

†イザヤ書 7 : 14

それゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエルと呼ぶ。

⇒キリストが処女から生まれることを預言。

†イザヤ書 9 : 6

ダビデの王座とその王国に権威は増し／平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって／今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。

⇒キリストの誕生の預言。

†イザヤ書 11 章 1～5 節、10 節

エッセイの株からひとつの芽が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ち その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊／思慮と勇気の霊／主を知り、畏れ敬う霊。彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。目に見えるところによって裁きを行わず／耳にするところによって弁護することはない。弱い人のために正当な裁きを行い／この地の貧しい人を公平に弁護する。その口の鞭をもって地を打ち／唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。正義をその腰の帯とし／真実をその身に帯びる。その日が来れば／エッセイの根は／すべての民の旗印として立てられ／国々はそれを求めて集う。そのとどまる場所は栄光に輝く。

⇒キリストが「エッセイの根株」つまり、エッセイの系列、ダビデの子孫から生まれ、どのような者となるか、ということが預言されている。（エッセイはダビデの父）

†イザヤ書 53 章

わたしたちの聞いたことを、誰が信じようか。主は御腕の力を誰に示されたことがあろうか。乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように／この人は主の前に育った。見るべき面影はなく／輝かしい風格も、好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し／わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。彼が担ったのはわたしたちの病／彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに／わたしたちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼は苦しんでいるのだ、と。彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／彼が打

ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和が与えられ／彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。わたしたちは羊の群れ／道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて／主は彼に負わせられた。苦役を課せられて、かがみ込み／彼は口を開かなかった。屠り場に引かれる小羊のように／毛を刈る者の前に物を言わない羊のように／彼は口を開かなかった。捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか／わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり／命ある者の地から断たれたことを。彼は不法を働かず／その口に偽りもなかったのに／その墓は神に逆らう者と共にされ／富める者と共に葬られた。病に苦しむこの人を打ち砕こうと主は望まれ／彼は自らを償いの献げ物とした。彼は、子孫が末永く続くのを見る。主の望まれることは／彼の手によって成し遂げられる。彼は自らの苦しみの実りを見／それを知って満足する。わたしの僕は、多くの人々が正しい者とされるために／彼らの罪を自ら負った。それゆえ、わたしは多くの人を彼の取り分とし／彼は戦利品としておびただしい人を受け。彼が自らをなげうち、死んで／罪人のひとりに数えられたからだ。多くの人々の過ちを担い／背いた者のために執り成しをしたのは／この人であった。

⇒キリストの受難を預言した箇所。

† エレミヤ書 23 : 5、6

見よ、このような日が来る、と主は言われる。わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う。彼の代にユダは救われ／イスラエルは安らかに住む。彼の名は、「主は我らの救い」と呼ばれる。

⇒バビロン捕囚の時代（BC586～）に、ダビデの子孫からキリストが生まれることを預言。

† ミカ書 5 : 2

まことに、主は彼らを捨ておかれる／産婦が子を産むときまで。そのとき、彼の兄弟の残りの者は／イスラエルの子らのもとに帰って来る。

⇒キリストが生まれる場所を預言。